

哲学・思想分野（人文・社会科学科目群）

哲学・思想分野科目は、この分野に属する学問諸領域の基盤となる内容を紹介する「基礎」科目と、より専門的で限定された範囲の授業を講義形式で展開する「各論」の講義科目、および教員との双方向的なやりとりの可能な少人数でテキストの講読や研究発表などを行うゼミナール形式の科目（具体的には「〇〇基礎ゼミナール」、「ILAS セミナー」）の三種類に分かれている。

- 「基礎」科目は必ずしも当の学問全体の紹介や体系的な紹介とはかぎらない。「基礎」は初歩的であるということの意味するのではなく、当の学問の基礎・土台となるような根源的な内容を紹介し、その基本的精神を理解してもらうことを目標としている。ただし、まったくその学問の知識をもたないひとでも十分理解できるように配慮されている。
- ゼミナール形式の科目は原則的に「基礎」科目と対応していて（たとえば基礎科目「哲学」（Ⅰ・Ⅱ）」に対してゼミナール形式の科目「ILAS セミナー：哲学」（前期）、「哲学基礎ゼミナール」（後期）がある）、多くは「基礎」の担当者が担当している。この授業を履修することで「基礎」科目の内容をさらに深く、教員の個人的な薫陶をうけながら学んでいけるようになっている。ただ、関連する「基礎」を履修していなくても理解できるように配慮されている。
- 「各論」の講義科目は「基礎」の内容を深めていく形をとっていて、「基礎」担当者が担当しているものも多い。「基礎」科目を履修して興味を抱いた学生諸君は、ぜひ履修していただきたい。一部の科目については、関係する「基礎」を履修していることが履修要件になっているうえに、二回生以上指定の科目もあるので注意してほしい。